

県庁を核として、南北の回遊性向上を目指し

“まちのシンボル軸”を

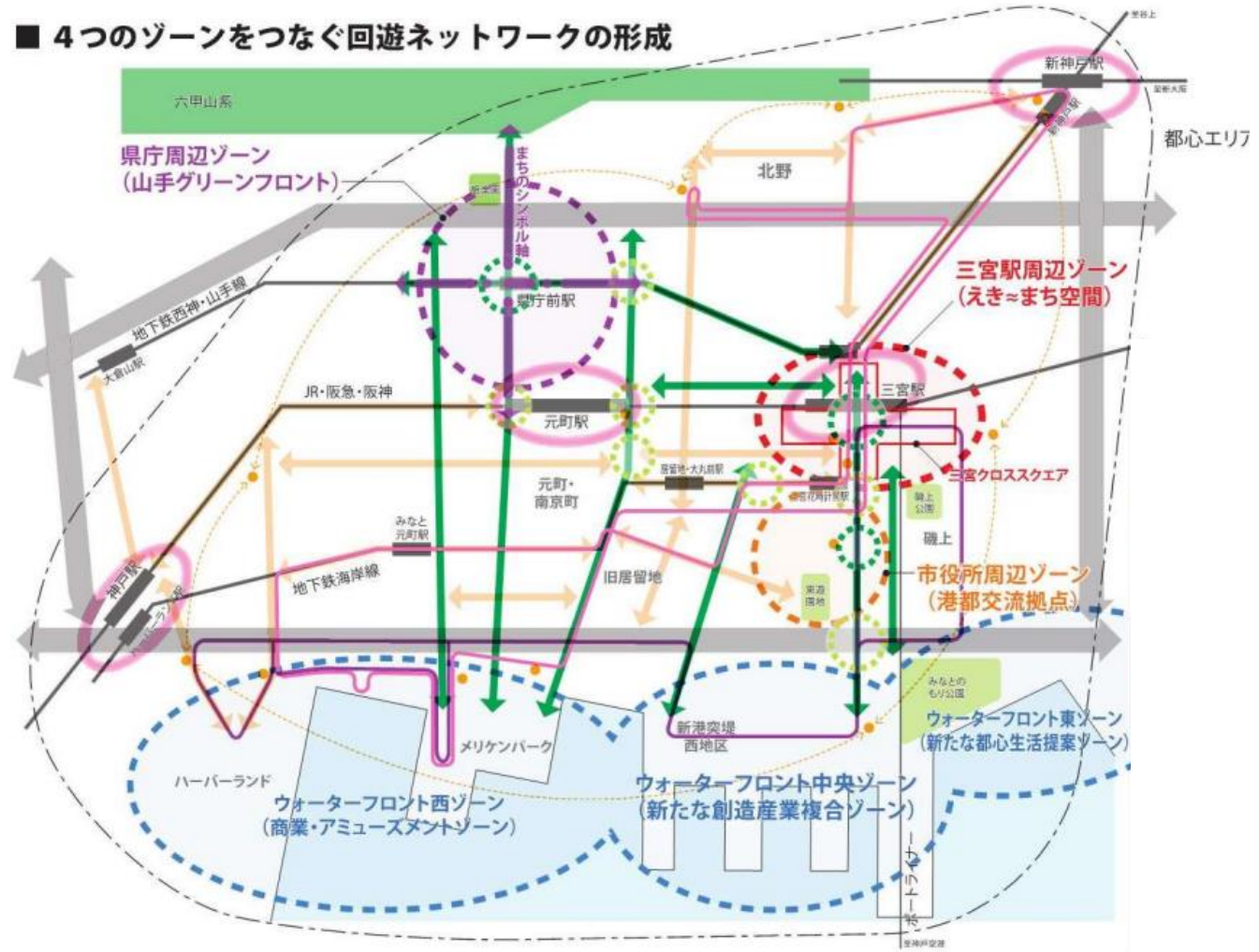
Venus-Road と名付けたい。

提 案

神戸諏訪山ふれあいのまちづくり協議会 横山

# 元町における南北の回遊性向上

## ■ 4つのゾーンをつなぐ回遊ネットワークの形成



令和5年5月9日 第1回 元町周辺まちづくり研究会資料 8頁

# 縣廳付近地図

最新神戸市街図1929(昭和4)年



- ・三ノ宮驛
- ・長狭小學校
- ・神戸小學校
- ・縣廳
- ・縣會議事堂
- ・縣立神戸高等女學校
- ・山手小學校
- ・諏訪山小學校
- ・諏訪山温泉
- ・諏訪山遊園地

古地図で楽しむ神戸 大国正美 編著  
2019年12月30日 風媒社 127頁





孫文と神戸 安井三吉著  
神戸新聞総合出版センター 2002年1月

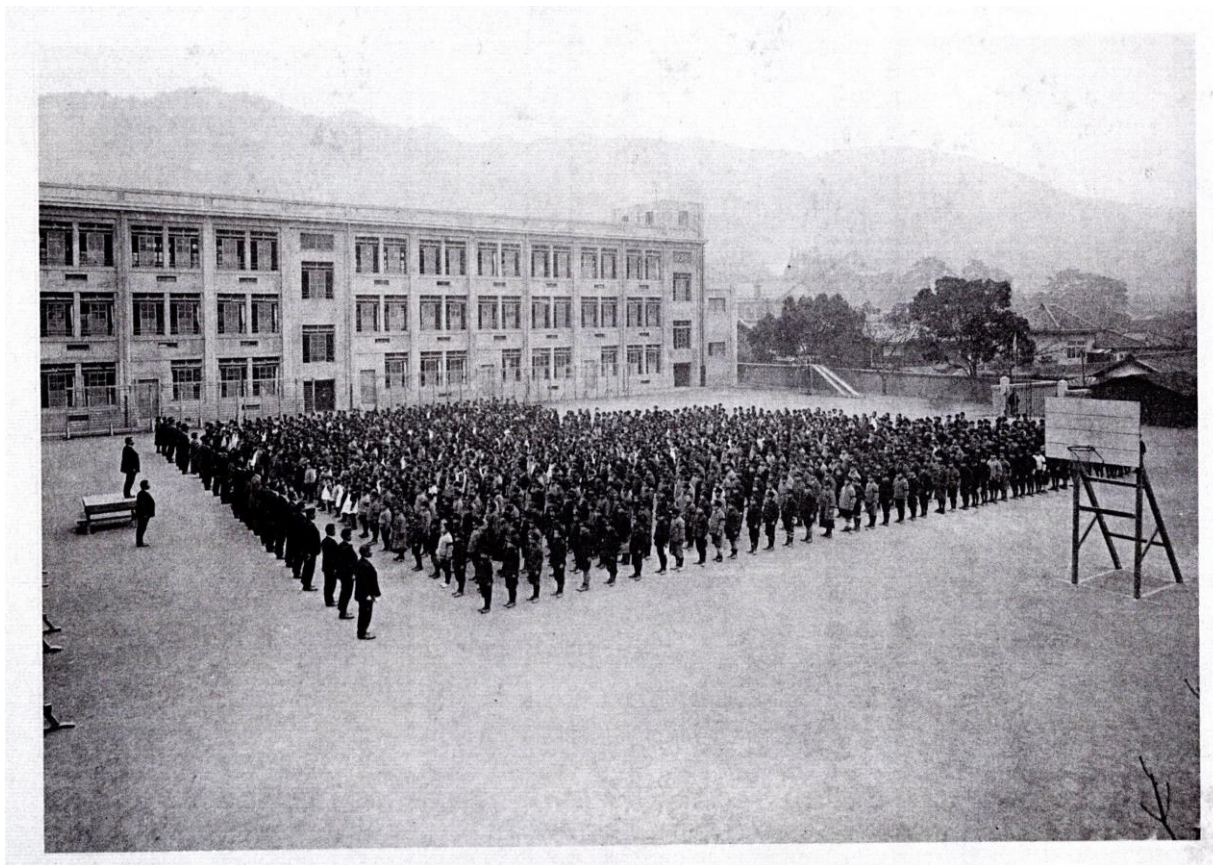


## 孫文, 大アジア主義講演

1924年(大正13年)11月28日

於 県立神戸高等女学校

県庁1号館東側壁に記念  
プレートが 1997年12月 設  
置された。



## 諏訪山尋常小學校

昭和2(1926)年 風景

設立 明治34(1901)年 4月1日

昭和2(1926)年3月 檜崎四郎氏卒業アルバムより

\* 檜崎氏は昭和46(1971)年兵庫県副知事に就任

## 相樂園(旧小寺邸)



旧小寺厩舎と畑と薔薇(神戸市蔵)

三田藩の足軽の子として生まれた小寺泰次郎が、明治19-20(1886-87)年にかけて造営し、後に、息子 小寺謙吉が引き継ぎ、住居とした。

小寺謙吉は、戦後初の神戸市長となる。

昭和16年以降神戸市の所有となり、“易教”からとって「相樂園」と名付けられ平成18年1月26日に国の登録記念物(名勝地)に登録された。





## 金星台・諏訪神社 登り口 (出典・時期不詳)

諏訪山会館(明治15(1882)年建設)があることや、常盤歌壇(常盤楼)があり、  
明治中期と推察される。

## 「金星台から」

・・・金星台からの眺めは、決して優大ではない。  
余りにも町に近く、葺が一枚一枚みえる。町の息吹  
と人々の生活のにおいが、とどいてくるのだ。・・・

---

神戸ものがたり(平凡社ライブラリー) 陳舜臣 著 平凡社 1998年1月. 27頁





# 県庁2号館からの眺望

金星台

ビーナスブリッジ



## ビーナスブリッジ

昭和46(1971)年 建設.

Venus

“ヴィーナス“or”ビーナス“

銘板は「ビーナスブリッジ」.





## ビーナステラス

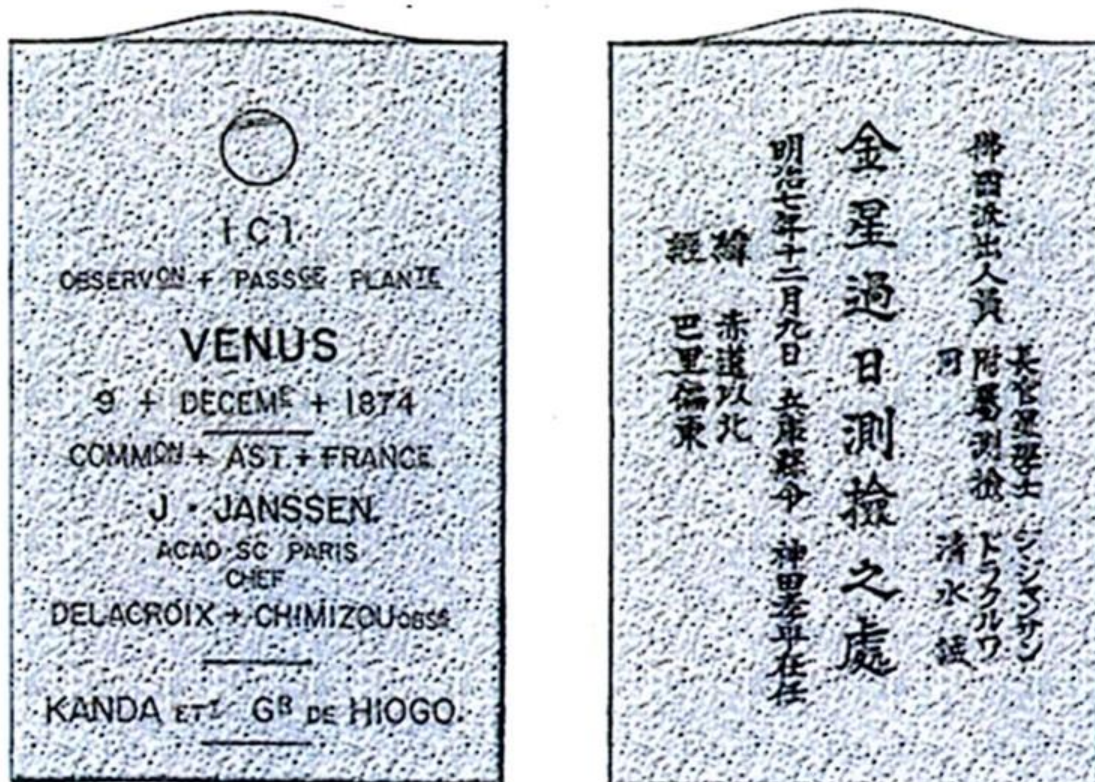
愛の鍵モメントは、日没後、  
ブラックライトによって輝きます。



## 金星太陽面通過 観測記念碑

明治7(1874)年12月9日観測。  
建立年月は不詳ながら、  
明治36(1903)年、金星台で  
内国勸業博覧会の開催に合  
わせてこの地に移設された。  
石柱は、安政2(1855)年の  
大地震で破損した生田神社  
の鳥居を利用した。





金星観測記念碑 正面 フランス語. 裏面 日本語. 高 159cm. 周囲189cm. 花崗岩・円柱.  
 図版: 神戸市立青少年科学館刊「金星日面通過読本」より.





石黒敬章氏所蔵写真より





令和4(2022)年3月 日本天文遺産 認定

令和5(2023)年1月 神戸歴史遺産 認定



## 金星太陽面通過 観測

平成24(2012)年6月6日

・ ・ ・ ・ ・

次回 2117年12月11日







## 海軍營之碑(設立不詳)

勝海舟が、元治元(1864年)年  
将軍家茂の神戸視察を記念し、  
「日本海軍発祥の地」として操練  
所内に立てるべく作ったが、操練  
所開設叶わず、豪商生島四郎が  
保管し、後にこの地に建てた。





## 孫文潜居の碑

平成25年(2013)年8月建立

大正2(1913)年8月，袁世凱打倒の第2革命に敗れて日本に亡命した孫文だった。

日本側は上陸を許さなかったが，松方幸次郎らの手引きで上陸し、諏訪山の常盤花壇別荘に8月9日-8月16日の間潜居，身を潜めていた。

歴史は遠く過ぎ去った昔の跡を，尋ね求めて  
記憶するというだけでなく，それと眼の前の新しい  
現象との，繋がる<sup>すじみち</sup>線路を見極める任務がある。

明治大正史 世相編(新装版) 柳田國男 著 講談社 1993年7月. 19頁

まとめ